

# 大滝ダム貯水池斜面再評価検討委員会

## 第1回委員会 議事要旨

日 時：平成17年3月25日（金） 10:00～12:00

場 所：新大阪シティプラザ 2階「草香（1）」

出席者：

委員長	千木良 雅弘	（京都大学防災研究所教授）
委員	吉松 弘行	（日本地すべり学会副会長）
”	平野 勇	（独立行政法人土木研究所地質官）
”	安田 成夫	（国土交通省国土技術政策総合研究所ダム研究室長）
”	佐々木 靖人	（独立行政法人土木研究所上席研究員（地質））
”	藤澤 和範	（独立行政法人土木研究所上席研究員（地すべり））

議事について：

1. 委員会の設立について  
趣意書および規約ともに異議なく、委員会が設立された。
2. 委員長選出  
規約に基づく委員の互選の結果、委員長に千木良京都大学教授が選出された。
3. 議 事
  - (1) 委員会の進め方  
委員会5回、現地検討会2回の開催予定が了承された。
  - (2) 大滝ダム貯水池斜面の現況等  
降雨および貯水状況、既往対策工、白屋地区地すべりの概要について説明がなされた。  
白屋地区以外の斜面における変動状況について、計器観測および巡視の結果、地すべり性の変状は認められないとの説明がなされた。  
白屋地区の2004年以降の観測結果について、局所的な変位が認められるものの全体的な動きを示すものはないとの説明があった。  
なお、貯水池斜面全体について現地の地形地質状況及びコア状況を確認するため、現地検討会を開催することが確認された。
  - (3) 再評価の方針  
再評価の基本方針、調査計画、検討フローについて説明がなされ、了解された。  
なお、今回の再評価にあたっては、大規模なゆるみ現象とそこに湛水によって生じる可能性のある地すべり現象について最新の調査技術を用いた検討が必要であることが確認された。  
地質踏査の範囲・精度について、全体的には地質構造を主眼にして調査すること、および地形図の判定により詳細な地質図を作る位置と範囲を定める方針とすることを説明した。
  - (4) その他  
4月に現地検討会、5月に次回委員会を開催することを確認した。